

助産診断技術学Ⅳ

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義 19.5 時間 演習 25.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	2 単位		

・学習方針（講義概要等）

分娩期・産褥期ならびに新生児期の身体的・心理社会的特性を踏まえ、各期の経過に応じたアセスメントと助産ケアについて理解する。また各期に必要な助産ケアの基本を演習を通して習得する。具体的には、分娩経過（分娩第1期～第4期）に対応したアセスメントと助産ケア、事例や状況設定に基づく助産過程の展開、分娩期一連の分娩介助技術、出生直後の新生児のアセスメントと助産ケアおよび産褥期のアセスメントと助産ケアについて学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

安全で安楽な分娩遂行に向けた助産診断と助産技術の基本を学ぶことにより、分娩開始から経過中の母児の健康状態を把握し、順調な分娩進行に向けた個別性のある助産ケアを考え、実施するための基本的技術を習得できるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4, 5, 7

・到達目標（SBO）

1. 分娩開始時期の母体・胎児の健康状態についてアセスメントできる。
2. 安全で順調な分娩進行に向けた助産ケアを立案できる。
3. 安全・安楽に分娩が遂行できるような分娩介助技術が習得できる。
4. 出生直後の新生児の健康状態についてアセスメントできる。
5. 産褥期・新生児期の健康状態についてアセスメントできる。
6. 産褥期・新生児期における順調な経過をたどるための基本的な助産ケアの方法を習得できる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 3-A 実習室

【講義・演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/12	月	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	助産師が行う分娩期のケア (グループワーク) ・ 分娩期における助産ケアの概要 について学生間のディスカッ ションを通じて理解することが できる
4/12	月	4	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	助産診断① 時期の診断 (グループワーク) ・ 入院時に想定される場面をも とに、時期に関する診断につ いて、学生間のディスカッ ションを通じて理解することが できる
4/15	木	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	助産診断② ハイリスク要因の診 断 (グループワーク) ・ 入院時に想定される場面をも とに、ハイリスク要因に関する 診断について、学生間のディス カッションを通じて理解する ことができる
4/15	木	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	助産診断③ 分娩経過の診断 (グループワーク) ・ 入院時に想定される場面をも とに、分娩経過に関する診断 について、学生間のディスカ ッションを通じて理解する ことができる

4/22	木	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	<p>分娩経過に対応したアセスメントと助産ケア①（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩3要素のアセスメントをもとに、分娩進行を促す助産ケアの実際を、学生間のディスカッションを通じて理解することができる
4/22	木	4	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	<p>分娩経過に対応したアセスメントと助産ケア②（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩進行を促すケアの前提となる観察の実際について、学生間のディスカッションを通じて理解することができる
4/23	金	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	<p>分娩経過に対応したアセスメントと助産ケア③（演習）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩3要素に関する観察と分娩進行を促す助産ケアについて、演習を通して実践することができる
4/23	金	4	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	<p>助産過程の展開①（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例に対する助産過程を、学生間のディスカッションを通じて展開することができる
4/28	水	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	<p>助産過程の展開②（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例に対する助産診断に基づき立案した助産計画について、学生間のディスカッションを通じて理解することができる

4/28	水	4	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	<p>分娩室入室時の助産ケア (グループワーク)</p> <p>・分娩室入室時の助産ケアについて、学生間のディスカッションを通じて理解することができる</p>
6/9	水	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	<p>分娩介助技術① (演習)</p> <p>・分娩室内の準備について演習を通して実践することができる</p>
6/9	水	4	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	<p>分娩介助技術② (演習)</p> <p>・分娩介助時に使用する物品の準備について演習を通して実践することができる</p>
6/10	木	4	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	<p>分娩介助技術③ 子宮口全開大から排臨まで (演習)</p> <p>・ガウンテクニック、外陰部消毒および肛門保護について演習を通して実践することができる</p>
6/10	木	5	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	<p>分娩介助技術④ 排臨から児頭娩出まで (演習)</p> <p>・会陰保護、児頭娩出について演習を通して実践することができる</p>

6/14	月	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	分娩介助技術⑤ 児頭娩出から躯幹娩出まで (演習) ・肩甲娩出および躯幹娩出について演習を通して実践することができる
6/14	月	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	分娩介助技術⑥ 児娩出から胎盤娩出まで (演習) ・胎盤剥離徴候、胎盤娩出および第1次検査について演習を通して実践することができる
6/17	木	4	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	分娩介助技術⑦ 胎盤娩出後から早期母子接触まで (演習) ・診察、外陰部の清拭、早期母子接触について演習を通して実践することができる
6/17	木	5	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	分娩介助技術⑧ 分娩第4期の助産ケア (演習) ・分娩後1・2時間値の観察および帰室について演習を通して実践することができる
6/21	月	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	分娩介助技術⑨ 付随する助産技術 (演習) ・導尿、人工破膜および胎盤計測について演習を通して実践することができる

6/24	木	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	分娩介助技術⑩ 準備から胎児娩出まで①（演習） ・分娩介助に向けての準備から胎児娩出までの一連の助産ケアについて演習を通して実践することができる
6/24	木	4	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	分娩介助技術⑪ 準備から胎児娩出まで②（演習） ・分娩介助に向けての準備から胎児娩出までの一連の助産ケアについて演習を通して実践することができる
6/29	火	1	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	分娩介助技術⑫ 胎児娩出から帰室まで①（演習） ・胎児娩出から帰室までの一連の助産ケアについて演習を通して実践することができる
6/29	火	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	分娩介助技術⑬ 胎児娩出から帰室まで②（演習） ・胎児娩出から帰室までの一連の助産ケアについて演習を通して実践することができる
6/30	水	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	出生直後の新生児ケア①（演習） ・呼吸の助成、アプガースコアの評価、臍帯血採取、保温および標識装着について演習を通して実践することができる

6/30	水	4	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	出生直後の新生児ケア②（演習） ・全身観察、計測および臍処置について演習を通して実践することができる
6/30	水	5	成育看護学講座	西里 真澄 講師	新生児の適応生理と助産ケアの実際（演習） ・新生児のバイタルサイン測定、清潔ケア、感染予防、黄疸の観察およびマススクリーニングについて演習を通じて実践することができる
7/7	水	3	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	さまざまな分娩体位と介助技術（演習） ・さまざまな分娩体位と介助技術について演習を通して実践することができる
7/7	水	4	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	進行性変化と助産ケアの実際（演習） ・進行性変化の観察および母乳育児支援方法について演習を通じて実践することができる
7/8	木	5	成育看護学講座	高橋 淳美 助教	退行性変化と助産ケアの実際①（演習） ・退行性変化の観察およびその変化を促す助産ケアについて演習を通じて実践することができる

7/9	金	5	成育看護学講座	高橋 淳美 助教	退行性変化と助産ケアの実際② (演習) ・退行性変化をふまえ、退院後の生活を見据えたセルフケア能力を高める支援について演習を通じて実践することができる
-----	---	---	---------	----------	---

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア	森 恵美 責任編集	日本看護協会出版会	2020
教	助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア	町浦美智子 責任編集	日本看護協会出版会	2020
教	助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア	江藤宏美 責任編集	日本看護協会出版会	2020
教	助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・ 新生児へのケア	小林康江 責任編集	日本看護協会出版会	2020
教	根拠と事故防止からみた 母性看護技術	石村由利子 編集	医学書院	2020

・成績評価方法

実技試験 70%、口頭試問 30%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

授業内容について分娩介助手順や動画の視聴、教科書等にて予習を行い講義に臨むこと。講義終了後は必ず復習を行い、次回の講義に臨むこと。各授業に対する事前学修時間は最低 60 分を要する

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

レスポンスカード等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
助産師（別表2）：助産診断・技術学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影